～研修医日記～

Vol.13　『外科は戦国時代～隙あらば下剋上～』

—セーラームーン研修医編—

私(セーラームーン研修医)の１ヶ月目のオーベン、無礼講専修医。前日に緊急オペで帰りが遅くなろうとも毎日朝５時台に病院に行き、早朝黙々と仕事をこなしているというこのお方。患者さんに優しく寄り添いとても信頼されていて、回診時には病棟で高齢女性患者さんのアイドルと化しており、定期的に握手会や撮影会なども開催している!?さらに、私ども研修医にすら気を遣ってくださる。こんなにも研修医が理想とする上級医がいるだろうか？いや、いない。
そんな完璧かと思われた無礼講専修医の衝撃的な一面をご紹介する。

～とある日のオペ前～

無礼講専修医:「セーラームーン研修医、今日のオペはロングやからごはんいっぱい食べてきてって言ったけどちゃんと食べてきた～？」

研修医のお腹の心配までしてくださるなんて優しすぎる💗

セーラームーン研修医:「はい！ちゃんとおにぎり食べてきました！先生は何食べられたんですか？」

無礼講専修医:「俺の朝ごはんは決まってるねん。どんぶりいっぱいにヨーグルト入れてそこに冷凍フルーツ、オートミール、素焼きのミックスナッツ、プロテイン入れて食べるねん。今日もキメてきた。」

セーラームーン研修医:「!?(去年は王将でキメる、オペ終わりにカップラーメン２個食いしてたって聞いてたけど・・・・・・)」

無礼講専修医:「コメとか高 GI やからすぐお腹空くで。絶対低 GI 食に限るで。キマるで。低 GI でインスリンの分泌を許さない(キリッ)」ヨーグルトとフルグラでキメる....そんな外科医が未だかつていただろうか・・・？？勝手なイメージではあるが外科医とは朝からカツ丼を食べ、オペ終わりにはビール片手に焼肉をかっ喰らうぐらいに思っていた。低 GI・・・？極めつけは、「「「インスリンの分泌を許さない」」」、パワーワードが生まれる瞬間に立ち会ってしまった。しかし、やたらキメる、キマると、なぜそんなに物事をキメないといけないのか私には未だよく分からない・・・💦そして、試しにヨーグルトとフルグラを朝食に食べた日はオペ開始１時間でお腹が鳴った事実は墓場まで持って行こうと思う。

～とある日～

入院患者さんの造影をするということで一緒に放射線科の受付に行った。

受付嬢:「造影ですね～お名前教えていただいて良いですか？」

無礼講専修医:「〇〇〇〇さんです」

受付嬢:「はい、かしこまりました。」

セーラームーン研修医:「えっ！？それって外科部長の名前ですよね？」

無礼講専修医:「チッ。クソ～。ばれてしまったか。せっかく部長に造影剤を飲ませて苦しめようとしたのに・・・！外科では不意の下剋上は当たり前なんやで！」
セーラームーン研修医:「油断も隙もないですね…💧」

外科部長に造影剤を飲ませて下痢にし、うんこ💩を漏らしたシーンを動画に撮って SNS に投稿して下剋上をしようとしたようである。小学生なのか…!?　私が止めなければ今頃ネットで大炎上していたかもしれない。しかし、私は無礼講専修医の大事な下剋上の邪魔をしてしまったようだ。今後研修をする人にはこの様な場面に遭遇したら、黙って流れに身を任せるようにと伝えていきたい。

～とある日のオペ中～
外科部長、無礼講専修医、私でオペに入っていた。会話の流れで日本三大庭園の話になった。
外科部長:「無礼講専修医、日本三大庭園って分かる～？」
無礼講専修医:「え～、兼六園と後楽園と、あとなんでしたっけ、快楽園💗でしたっけ？」
外科部長:「・・・・・・💧　それってなんかいかがわしい風俗店の名前とちゃうんかぁ～？」
無礼講専修医:「あ、すみません。それ僕の行きつけのお店でした。行きつけのお店バラしちゃいました。」
外科部長:「無礼講専修医、脳内ピンクやなぁ～・・・・・・💧」

お気付きだろうか。″偕楽園″は日本三大庭園である。しかし無礼講専修医の回答は″快楽園″である。音は″カイラクエン″で間違いないのだが、無礼講専修医先生の口から発せられ、顔に書いてあったのは(外科部長目線)″快楽園″であった。ちなみにこの話、さらに何が恐ろしいかというと、外科部長は「日本三大庭園の１つは甲子園」というオチをつけようとしていたにも関わらず、無礼講専修医は上司のオチを凌駕するボケをブッ込んできたのである。これこそ噂に聞く外科の下剋上ではないだろうか。そしてその時外科部長はマスクの奥で下くちびるを噛んで悔しさを押し殺しているように見えたのは私の錯覚だったのであろうか？？
この実話は無礼講専修医から「俺の親も研修医日記の大ファンで、毎回読んでいるから書かんといて～」と言われたような言われなかったような気がするが、きっと気のせいだと思いここに書き記しておく。

～とある日のオペ中～
無礼講専修医:「さーて、手術はどんな感じかな～」
ウィーン(手術室のドアが開く音)
無礼講専修医:「お。後輩の非常識専修医やん」
非常識専修医:「あ、無礼講専修医先生、うぃーーっす！」
無礼講専修医:「(あ、こいつ完全に俺のことなめてるわ！)手術どんな感じ？」

非常識専修医:「今ちょうど宴会部長医長が、壁(癖)を出してもいいかを確認しているところです」**←この内容が気になる読者は次号を要チェック！！！**
無礼講専修医:「あ、なるほどね。いろんな意味でこれからって感じやな･･･。」

非常識専修医は丸椅子に座っていた。立ちながら手術を見学している無礼講専修医を見て、
非常識専修医:「あ、ここ座ります？？」
無礼講専修医:「(あ！こいつ意外と優しいやん～)ありがとう！」

てっきり丸椅子を譲ってもらえると思った無礼講専修医だったが、
非常識専修医:「あ、この椅子じゃないです！」
と、非常識専修医先生が差し伸べたのは･･････地べただった！･･･😱😱
非常識専修医:「空いてるところいっぱいあるので、どこでもお好きなところ座ってください😊」
無礼講専修医:「しばく･･････！💢💢💢」

一瞬でも非常識専修医を優しいと思った無礼講専修医を慰めたくなる。しかし外科では隙あらば下剋上をしようと企む先生しかいらっしゃらず、このような光景は日常茶飯事である。慰めの言葉をかけていては業務が進まない。日々下剋上されるのではないかと、(不必要な)緊張感のある職場である。
何を隠そう外科部長も日々怯えながら、白衣のポケットに下痢止めをしのばせているという事実はここだけの秘密にしておこう💗

消化器外科に興味のあるあなた、消化器外科に興味のないあなた、外科全般に興味のあるあなた、ope が好きなあなた、手技が好きなあなた。
そして、下剋上をしたいあなた。
是非とも当院の外科を見学して欲しいと思う。

＜無礼講専修医のつぶやき＞
今度親父も快楽園に誘ってみようかな･･････!?

【変集者後記】
無礼講専修医に非常識専修医･･････名前だけ聞いても大変な集団であることは想像に難くない･･････💧💧 そして、こういう環境の中では下剋上が起こっても何ら不思議なことではない･･････😱
無礼講専修医の父上がこの日記の大ファンで、毎回更新されるのを楽しみにされているという話は涙が出るほどありがたいことである。😭 全国の医学生、初期および後期研修医の皆さんの中に、この日記の更新を楽しみにされている方がもしおられるとすれば、こちらとしては仕事そっちのけにして最低月一回は更新してしまいそうであるが、さすがにそれは夢物語なので現実的には現在のペースが関の山である。

いずれにせよ、無礼講専修医と日記ファンの父上が仲良く快楽園に行かれて、裸の付き合い!?で親睦を深められることを願ってやまない。